

11月21日に総務文教委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

## ・政策監の設置について

### ～内容～

平成23年6月定例会において、総務文教委員会提出の議案として、「政策監は副市長と同様の職務であり、市長及び副市長が本市の事務に経験がない者が就任するなど、真に必要なとき以外は政策監は必要がないため、総社市政策監設置条例について、その旨の改正を行うよう」決議を行ったところであるが、市長が来年度以降も政策監を設置する意向を示したため、調査を行った。

### ～質疑～

問： 政策監の職務である庁内の調整を図るという仕事は副市長が行うべきであり、政策監を設置する必要がない。

政策監を含め、秘書室に正職員5名、その他職員2名、計7名もの職員を配置しているが、地方主権で仕事量が増え、忙しくなっている職種に重きを置く方向に切り替えていくべきではないか。

答： 各部の事務と連携して行うものが多くあり、今後も総合的な調整を行うことが必要であること、また、地方主権の進展により、横断的な、今まで取り組んでいなかった事務が増えてくることから、柔軟に対応するためには政策監が必要であると市長は考えている。

問： 今の副市長は元職員であり、市役所のことに精通しているので、政策監は必要ないのではないかと。職員数をぎりぎりで行っている中で、市長のところに思う部下を配置するのは市長にとってはいいだろうが、全体を見たときに公平性を欠く、バランスを欠くというのが外から見た目である。総社市の規模が秘書室に職員を7名も配置してやっつけられる市なのか。職員数と比較したときに、やりすぎではないかという声がたくさんあるということは、市長も知らないといけな。以前もやっていたように、副市長が政策監の代わりをして、総務部長が補佐すればできるはずである。そうやって節約しないといけな現実があるということを経理市長自身が知らないといけなというのが議会の何人かの意見である。

答： 私どもの力不足が一番かと思うが、言われた趣旨については市長に伝える。

## ・吉備路マラソンに係る諸問題について

### ～内容～

吉備路マラソンの諸問題について調査を行った。

### ～質疑～

問： 合併して良かったということで清音地区をコースに入れていくと聞いていたが、今回は清音地区がコースから外れている。合併して良くなかったから、清音地区はコースから外れたのか。今まで清音地区の人は、一生懸命ボランティアで看板を立てたりしていたが、今回はコースから外れている。文句が必ず出る。コースはどのようなメンバーで決めたのか。地元の団体の意見も取り入れたのか。

答： 今までは狭い所もあり、公認コースの検定員からの指導もあったこと、また、警察との協議の中で、交通規制の関係でハーフマラソンのコース内にフルマラソンのコースがおさまるようにとの指導もあったので、こういうコースにした。公認コースとして考えられるコースとしては、最善であると考えている。岡山陸上競技協会、警察、国道、県道の道路管理者と協議をした結果であり、このコースで決定となっている。

問： 昨年はスタート時点が大変混み合ったが、どのような配慮をしたか。

答： ブラカード等を掲げて、タイムの早いランナーが前になるようにし、転倒等が起らないように対応を考えていきたい。昨年は西に向かってスタートし、すぐ2車線の県道を南進するコースとしていたが、今回は、東に向かってスタートして国道429号まで、5倍以上の距離を4車線道路をコースとしているので、スタート時点の安全面はかなり向上できたと考えている。

問： 昨年のハーフマラソンはゴール地点が大変混み合っていたが、同じゴール地点で倍の人数が来て大丈夫なのか。

ランナーが着替える場所は、1万人近くランナーが増えて、雨が降ったりすると大変なことになると思うが、体育館だけで対処するのか。

ハーフマラソンの公認をとるために一生懸命頑張ったと思うが、新しいコースの近隣の方への説明が遅れている。これから職員で対応していくということだが、間に合うのか。

答： 今回は、きびじアリーナの多目的広場を空けるようにしているので、ゴールしたランナーが多目的広場に抜けてくれば、ゴール地点の混雑は解消されると思う。

今のところ、雨が降っても、特別な対策は考えていない。

コース沿道や関係者への案内とお願いについては、前回より遅れている。早急に行っていきたい。

問： 来年4月の機構改革で、そうじゃ吉備路マラソンの体制はどのように考えているのか。

答： 教育委員会と今調整を行っているところであるが、少なくともマラソンについては市長部局の方での対応になると考えている。時期についてはもう少し調整が必要である。

問： 公認コースになってグレードアップをするというのは、具体的には何がグレードアップしたのか。公認コースになっても何も変わらない。公認記録にもならないし、公認大会にもなっていない。公認コースをとるのに何百万円もかけた。今後、公認大会にして、公認記録にまでしようとする、莫大なお金がかかる。方向性を示すべきである。

答： 公認コースとは、距離的に正確になったということである。距離が正確であるから、より正確な記録になるが、個人的な記録にとどまる。今現在はそうじゃ吉備路マラソンを公認大会とまでは考えていない。

問： マラソンと生涯スポーツの所管について教育委員会はどのように考えているのか。

そうじゃ吉備路マラソンは、市の大きなイベントであり、学校教育とあまり関係ない。どこに移しても混乱が起きない。市民スポーツは、いろんなことで教育施設を使うが、施設は学校が管理している。市長部局に市民スポーツを移すと、教育委員会との二重行政になり、利用者が困るというのが、いろんなところで現実に起きている事象である。そういう問題が解決できるようになるまでは慎重であるべきである。ただし、マラソンについては、体育振興に支障を来しているという状況が明らかで、多くの議員もそのことを指摘していることから、市長部局に移すことについては誰も疑義がないと思う。

答： 教育委員会で既に3回、マラソンとスポーツ全般の所管について議論を行っている。マラソンについては、教育委員会が中心となって対応するのが困難となっている、市民スポーツとしての域を超えているというのは、教育委員の共通の認識である。スポーツ全般については、教育との連携を今までやってきており、市長部局に移したときに連携がうまくとれるかという不安があるのも事実である。今時点で来年4月にスポーツ全般を市長部局に移すのは時期尚早と思っている。生涯スポーツについては、時間をかけて慎重に協議をしたい。

問： 国道180号や県道清音真金線などの幹線道を通行止めにする、近隣の市の方にも交通面で問題が起こる。コース上にボランティアを配置するだけでなく、もっと広範囲にボランティアを配置する必要がある、今までの3~4倍もボランティアの数が要すると思うが、見通しはどうか。

答： 幹線道をコースにすることによってボランティアの数が増えることは予想している。しかし、幹線道であるので、ボランティアでの対応ではなく、警備員での対応が増えると考えている。昨年の警備員は270名であったが、その2倍程度の警備員が要すると考えている。

問： そうじゃ吉備路マラソンをすればするほど市の持出しが増えるということが市民のためになっているのかということから、本委員会で参加料を上げるべきとの提言をした。市からの持出しをしないようにしないと開催できなくなると思うが、見通しはどうか。

スポンサーを市内の企業に頼るのではなく、大企業からスポンサーを募るよう  
にすべきと考えるがどうか。

答： 今、市から補助金を1,800万円支出している。すぐに補助金を0というのは難しいが、今  
回から公認コースとなったハーフマラソンと10kmにネーミングライツを導入して協賛金を  
増やし、市からの補助金を少なくする努力をしていきたい。

十分意識はしているが、今回からいきなり市外の企業にというのは難しい。今までのスポ  
ンサーの合意を得た上で、市外、県外の企業に協賛を募っていきたい。

## ・ 博物館、美術館整備構想の策定について

～内容～

博物館、美術館整備構想の進捗状況について調査を行った。

問： 平成24年9月定例会での一般質問の答弁で、市長から二十数億円かかるとい  
う発言があった。市長部局で何も考えているはずがないのに、二十数億円という  
経費が先走りが出るのがおかしい。どういうものを造るかが決まったときに、経  
費というのは出てくる。以前、市長は1億2,000万円で立派な施設があると発言  
をした。都合に合わせて、金額を変えて発言する。何を意図しているのかという  
疑念が湧く。もっと真剣に考えてもらいたい。

議会報告会で市民から美術館がない街は寂しいという発言があった。少ない出  
席者の中でもそういう人がいるのだから、大勢の人に聞けば、そういう人がいっ  
ぱいいる。真剣に考えてやってもらいたい。

答： 指摘のとおり、構想がまとまらなると経費は示せないで、来年度中にいろんなところを  
見て、身の丈に合った美術館、博物館構想を作って、経費を算定していきたい。

市民の長年の懸案事項であるが、財政事情から先送りされてきた。合併特例債が5年間延  
長され、その中でできるかどうかは考えていけないが、できるだけ市の負担が少  
なくなるようにしていきたい。美術館構想については、作っては消えてきた。手作りではあ  
るが、今回は特に真剣に構想を練っていきたい。

問： 造る時代によって㎡単価が全く違う。バブルの時代に造ったものと財政が厳し  
いと言われ出して平成の時代になって造ったものとは、倍半分ぐらい経費が違っ  
ても、ほとんど遜色がないぐらいのものができる。視察に行ってその施設は幾  
らでできたというデータは、役に立たない場合があるので、冷静に分析してもら  
いたい。

答： 美術館、博物館は、時期によって建設単価が違う。その辺を見極めて冷静に対応してい

たい。

問： 立地のコンセプトをきちっと固めてもらいたい。今の段階で予定があれば教えてほしい。

構想をしっかり練って、やりたいことをどんどん織り込んでほしいと思うがどうか。

答： 立地については、作山古墳が近くにあり、そこを散策する観光客がいること、国分寺も非常に近く、観光コースになること、サンロード吉備路や産直広場が近くにあり、人が集いやすい場所であることから、あの辺りを第1候補地として考えていきたい。

意見を体して、構想をまとめたものを示したい。コンセプトをしっかりと頭に据えて理想的なことを考えるべきであるので、他市の影響を受けることなく、本市にはどんなものがあるかということを実際に考えて、構想を練りたい。

## ・給食センターの整備について

### ～内容～

今後の学校給食共同調理場のあり方について検討するための検討委員会を設置し、協議を行っているところであるが、その状況について調査を行った。

### ～質疑～

問： 現在、本市には学校給食共同調理場が2つあるが、新しい調理場を造るとしたら、1つに統合する考え方が主流か、分散する考え方が主流か。

答： 専門家もいるので、そういったことも含めて検討してもらい、意見をもらおうと思っている。

上記の調査以外に下記の事項について、当局から報告を受けた。

- ・サントピア岡山総社の現況について
- ・教育長の出張について
- ・総社西中学校校舎増築工事に伴う機械設備工事の工事請負契約の変更について
- ・旧吉備路郷土館の設計について